

「小笠原村の観光資源の遠隔体験イベント」実施委託  
事業者選定（プロポーザル方式）実施要領

## 1 目的

東京都及び公益財団法人東京観光財団（以下「TCVB」という。）では、「地域資源発掘型実証プログラム事業」として、都内にある、未だ活用されていない魅力ある地域資源を発掘・活用し、旅行者誘致につなげていくために、都内観光協会等、地域で活動する団体から企画案を募集した。応募されたもののなかから、TCVB が選定した企画案を元に下記のとおり事業を実施する。

東京竹芝から客船で片道 24 時間かかる小笠原村は、旅行者にとって来訪の費用的及び時間的なハードル高く、また海のアクティビティ等が全面に押し出されているため、体力的なハードルも高い印象がある。

そこで、最先端技術を用いて、東京竹芝にいながらにして小笠原村現地の主に陸地の資源を旅行者等に体験してもらうイベントを実施することにより、小笠原村の旅行者誘致の障壁となっている前述の課題を解決し、小笠原村の閑散期である 10 月～11 月に、主にシーズンに左右されにくいシニア層や、ハネムーン休暇を取得する新婚層等の誘客促進へと繋げる。

平成 30 年は、小笠原諸島が返還されてから 50 年の節目の年であり、本イベントを契機とし、これまでリーチ出来ていなかった層へのアプローチが出来、より多くの旅行者を継続的に呼び込むことが可能となる。本事業は、近年発展が著しいロボットと VR 技術を活用した取組であり、既存の観光資源でもこれまでにない切り口で体験することが出来る上、その他島しょ地域を含む多様な遠隔地での観光資源の活用促進及び旅行者誘致のモデルケースとなるものである。

については、企画力・実施能力等に最も優れた委託事業者を選定するに当たって、標記事業における委託事業者をプロポーザル方式で募集し、企画審査会を実施するため。

## 2 委託内容

仕様書の通りとする。

## 3 事業提案上限額

金 5,500,000 円 也

※上記金額は、消費税等を含む総額とする。

## 4 契約の履行期間

契約締結日の翌日から平成 31 年 3 月 22 日まで

## 5 選考について

選考については以下の手順及び日程で行う。

- (1) 公募開始及び希望申出受付開始  
平成30年6月26日（火）
- (2) 公募締切  
平成30年7月2日（月）正午まで
- (3) 企画審査会への指名通知  
平成30年7月3日（火）
- (4) 実施要領及び仕様書に関する質問の受付期間  
平成30年7月3日（火）から平成30年7月5日（木）正午迄
- (5) 実施要領及び仕様書に関する質問への回答  
平成30年7月6日（金）（予定）
- (6) 企画提案書及び見積書等の提出期限  
平成30年7月13日（金）17時迄（必着）
- (7) 企画審査会実施日  
平成30年7月20日（金）（予定）
- (8) 審査結果の通知  
平成30年7月下旬（予定）

## 6 企画審査会について

- (1) 実施日 平成30年7月20日（予定）
- (2) 実施場所 東京観光財団 5階会議室（予定）
- (3) 実施方法 応募者（1社3名以内）のプレゼンテーションとする
- (4) その他
  - ・各社15分以内で企画提案書及び見積書について説明し、その後10分間の質疑応答を行う
  - ・開始時刻等詳細については別途指名業者あて通知する

## 7 企画審査会に必要な提出物と提出方法

- (1) 提出物
  - ア 企画提案書  
企画提案書は、仕様書に基づき、原則以下に指定する順番にてA4版縦で提出すること。企画書のタイトルは『「小笠原村の観光資源の遠隔体験イベント」実施委託』とすること。
    - ① 運営体制と業務実績

- (ア) 事業の運営体制（人員配置、役割分担）。再委託の場合は再委託先を含む。
- (イ) 業務責任者及び本業務に携わる職員の略歴（業績を含む）  
※過去に地域資源発掘型実証プログラム事業を受託した実績がある場合は、平成〇年度地域資源発掘型実証プログラム事業受託 とし、委託件名までは記載しないこと。
- (ウ) 業務スケジュール
- (エ) 地域資源を活用したイベント等に関する調査・業務実績
  - ② イベントの企画・実施
  - ③ イベントの広報 PR・集客
  - ④ イベントの効果及び事業継続性の検証
  - ⑤ その他
- (ア) 上記のほか、貴社独自の企画提案があれば記載してください（なお、本提案に要する経費は契約金額に含むものとします）。

イ 見積書

見積りに際しては以下の点に留意すること。

- ① 見積り総額は消費税等諸税を含む金額とすること。
- ② 経費について、金額は仕様書に記載の事業実施項目ごとに積算の上、経費内訳・細目を記載すること（経費合計は3の事業提案上限額を超えないこと）。
- ③ モニターツアー参加者より参加費を徴収する際などに発生する収益分は減額項目として見積書に記載すること。

(2) 提出部数と提出体裁

提出物	社名、ロゴマーク等	会社印	提出部数
ア 企画提案書 ※片面印刷、左上をクリップで留めたもの (製本・ステープル留め等不可)	なし	なし	10部
イ 見積書 ※各社の書式により提出可	あり	あり	1部
	なし	なし	9部

\*上記に指定のあるものを除き、自社名及びロゴマーク等は一切記入しないこと。

(3) 提出方法及び提出場所

- ア 提出方法  
郵送または持参とする（宅配便不可）
- イ 提出先（宛先）

公益財団法人東京観光財団 地域振興部事業課

〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル2階

※提出物の封筒等に『「小笠原村の観光資源の遠隔体験イベント」委託事業者選定  
企画審査会資料』と朱書すること。

(4) 注意事項

提出期限までに提出物が届かない場合は、企画審査会への参加を辞退したものとみなす。

## 8 選考の評価ポイント

企画審査会においては、東京観光財団が別途定める『「小笠原村の観光資源の遠隔体験イベント」委託事業者選定企画審査会 審査要領』に基づき、選考する。評価のポイント、評価点数（50点満点）については、以下の通りとする。

(1) 事業目的の実効性・実現性【10点】

事業目的を的確に理解し、事業の実現性が高いと見込めるか。

(2) イベントの企画・実施【15点】

・イベント実施内容が、本事業の地域資源及び最先端技術を活かしたものになっているか。

・イベント実施内容は、訴求力の高いものになっているか。

(3) イベントの広報PR・集客【10点】

イベントの広報PR手法は集客に繋がる工夫がなされているか。

(4) 全体実施体制の信頼性【10点】

・事業の実施体制は、社内での連携がとれ、多角的な見方ができるものであるか。

・現地での事業者調整等に十分な行程を用意しているか。

(5) 経費等の妥当性【5点】

・提案内容に対する経費は妥当か。

・経費の配分は妥当か。

## 9 選考結果の通知について

全ての応募者に対し、選考結果を文書にて通知する。なお、審査内容にかかわる質問については一切受け付けない。

## 10 質問等

(1) 仕様書及び委託事業者選定に関する質問については、質問受付期間中電子メールにて受け付ける。

(2) 質問についてはワード形式（別紙様式1）で作成し、メールに添付のうえ送付すること。

(3) 質問内容については、全て財団事務局で取りまとめた上で、指名通知を受けたすべて

の事業者に対し電子メールにて一斉に回答する。

※ 質問送付先メールアドレス [chiiki@tcvb.or.jp](mailto:chiiki@tcvb.or.jp)

## 1 1 その他

- (1) 企画提案応募に係る費用については、全て応募者の負担とする。
- (2) 応募書類等に関しては一切返却しない。
- (3) 応募を辞退する場合は、提出物の提出期限前日までに辞退届（別紙様式2）を提出すること。

## 1 2 本件の問い合わせ先

公益財団法人東京観光財団 地域振興部事業課

担 当：谷口・島中

〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル2階

電 話：03-5579-2682

FAX：03-5579-8785